

- 問1 日本の太平洋側に位置する東京などの地域では、季節によって降水量の変化が明確に現れます。このような地域における、年間の降水量の傾向について説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 冬の時期に大陸からの湿った季節風の影響を強く受け、12月から1月の降水量が最も多くなる。 | 2. 1年を通して気温が高いため、季節に関係なく毎日午後には激しい雨が降る。 | 3. 年間を通じて降水量が平均しており、月ごとの変化がほとんど見られない。 | 4. 梅雨や台風の影響を受ける6月や9月ごろに、降水量のピークが見られる。 |
|---|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 扇状地と三角州を比較した説明として、正しいものはどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 扇状地は海岸沿いの波の作用によって形成され、三角州は火山活動による溶岩の堆積によって形成される。 | 2. 扇状地は地形が非常に平坦なため水田に利用され、三角州は傾斜があるため果樹園に利用される。 | 3. 扇状地は川が山から平地に出た場所に形成され、三角州は川が海や湖に流れ込む河口に形成される。 | 4. 扇状地は泥や粘土などの細かい粒子が堆積し、三角州は大きな岩や礫が堆積して形成される。 |
|---|---|--|---|
- 問3 瀬戸内地域では、年間降水量が1400ミリ未満という乾燥した気候が見られます。このように降水量が少なく、晴天の日が多い気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 年間を通じて上昇気流が発生しにくい高気圧の通り道となっており、梅雨や台風の影響を全く受けないため。 | 2. 夏は四国山地、冬は中国山地によって湿った季節風が遮られ、水分を失った空気が流れ込むため。 | 3. 四国山地によって北風が遮られることで、冬の時期に日本海側からの湿った空気が大量の雪を降らせるため。 | 4. 中国山地と四国山地の間に位置しているため、海からの水蒸気が入り込まず、常に乾燥した偏西風の影響を受けるため。 |
|--|---|--|---|
- 問4 都市部において、周辺の郊外に比べて気温が著しく高くなる「ヒートアイランド現象」が発生する主な原因として、地表がアスファルトやコンクリートで覆われていること以外に、どのようなことが挙げられますか。その要因を説明したものととして最も適切なものを選びなさい。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 都市中心部から郊外へ人口が移動することによって生じるドーナツ化現象の進行 | 2. 高層ビルが密集して建ち並ぶことで、上空の偏西風が遮断されること | 3. エアコンの室外機や自動車の走行などによって放出される人工排熱の増加 | 4. 海沿いの工場から排出される二酸化炭素による温室効果の増大 |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
- 問5 都市部などの交通量が多い地域において、鉄道と道路の交差部分を踏切ではなく「立体交差」にする主な目的として、最も適切なものはどれか。（2024年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 交通渋滞を解消し、踏切事故を防止して安全性を高めるため | 2. 列車の運行速度を落とすことで、周辺住民への騒音を軽減するため | 3. 地形図上での表記を簡略化し、地図の視認性を向上させるため | 4. 線路の敷設面積を最小限に抑え、土地の有効活用を図るため |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
- 問6 冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際、水蒸気を多く含んで日本列島の山脈にぶつかることにより、日本海側の地域で発生する現象として正しいものはどれですか。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 水蒸気が雲にならず、日本海側に乾燥した晴天をもたらす | 2. 山脈にさえぎられて上昇し、大量の雪を降らせる | 3. 乾燥した空気として山脈にぶつかり、フェーン現象を起こす | 4. 山脈を越えたあとに水分を含み、太平洋側に雪を降らせる |
|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
- 問7 扇状地において、標高の高い扇頂・扇央部で果樹園が多く開かれ、標高の低い扇端部で水田が多く開かれる地形的・自然環境的な理由の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 扇頂・扇央部は標高が低いため果樹園に適し、扇端部は標高が高く冷涼な気候であるため水田に適している。 | 2. 扇頂・扇央部は湧水が豊かで洪水が多いため果樹園に適し、扇端部は水が得にくく乾燥しやすいため水田に適している。 | 3. 扇頂・扇央部は砂利が多く浸透性が高いため果樹園に適し、扇端部は地下水が湧き出て水が得やすいため水田に適している。 | 4. 扇頂・扇央部は粘土質の土壌で保水性が高いため果樹園に適し、扇端部は水はけが非常に良いため水田に適している。 |
|--|---|---|--|
- 問8 日本の諸地域の雨温図を比較した際、年平均気温が15度前後であり、かつ年間降水量が1100mm程度と他の地域に比べて極端に少ない数値を示す地域に該当する気候区分を選びなさい。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 南四国の気候 | 3. 太平洋側の気候 | 4. 瀬戸内の気候 |
|------------|-----------|------------|-----------|
- 問9 地形図において、小さな円の上に短い縦棒を組み合わせた地図記号で表される、リンゴやミカンなどの果実を栽培する場所を何といいますか。（2020年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 1. 畑 | 2. 果樹園 | 3. 茶畑 | 4. 桑畑 |
|------|--------|-------|-------|
- 問10 日本の気候区分において、冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、奥羽山脈などの山脈にぶつかることで、日本海側に雪や雨の降水量が多くなる仕組みを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 赤道付近からの暖かくて湿った季節風が、冬に勢力を強めて日本海を北上し、山脈に遮られることで積雪をもたらす。 | 2. 太平洋からの湿った空気が日本海に流れ込み、山脈を越える際に急激に冷却されることで大量の雪を降らせる。 | 3. ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。 | 4. オホーツク海からの冷たく湿った北東の風が、直接日本海側の地域に吹き込み、冬の間中、曇りや雨の日を多くする。 |
|--|---|---|--|
- 問11 日本列島の周辺を流れる海流のうち、東北地方の沖合で千島海流（親潮）とぶつかって「潮目（潮境）」を形成し、豊かな漁場を作る要因となっている暖流はどれですか。（2025年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|----------|-----------|---------|
| 1. 日本海流（黒潮） | 2. リマン海流 | 3. 北大西洋海流 | 4. 対馬海流 |
|-------------|----------|-----------|---------|
- 問12 地形図上の特定の二地点間を直線で結び、その線に沿った標高の変化をグラフのように横から見た図として表現したものを何というか、名称を答えなさい。（2015年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 断面図 | 2. 柱状図 | 3. 鳥瞰図 | 4. 等高線 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 三重県の志摩半島付近では非常に複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような地形を利用して盛んに行われている産業とその理由について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2020年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な砂浜が広がり遠浅な海域となっているため、大規模な塩田による製塩業が発達している。 | 2. 海岸線が直線的で大型船の接岸が容易であるため、石油化学コンビナートなどの重化学工業が集中している。 | 3. 入り江の中は外海からの波の影響を受けにくく穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。 | 4. 遠浅の入り江を大規模に埋め立てた人工的な土地を利用して、施設園芸農業による野菜の促成栽培が行われている。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 梅雨や台風の影響を受ける6月や9月ごろに、降水量のピークが見られる。	日本の太平洋側の気候は、夏は太平洋高気圧の影響で高温多湿となり、初夏の梅雨前線や秋の台風によって降水量が増加する時期が2回あります。一方、冬は大陸から吹く乾いた北西の季節風が山脈を越えて吹き下ろすため、晴天が多く乾燥した日が続き、降水量は少なくなります。
問2	答え 3 扇状地は川が山から平地に出た場所に形成され、三角州は川が海や湖に流れ込む河口に形成される。	どちらも河川の堆積作用によって作られる地形ですが、形成場所が異なります。扇状地は山地から平地への「出口」に作られ、粒子が大きく傾斜があります。一方、三角州は流れが完全に止まる「河口」に作られ、粒子が非常に細かく、非常に平坦な地形となるのが特徴です。
問3	答え 2 夏は四国山地、冬は中国山地によって湿った季節風が遮られ、水分を失った空気が流れ込むため。	瀬戸内地域は、北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれています。夏は太平洋側から吹く南東の季節風が四国山地に、冬は日本海側から吹く北西の季節風が中国山地にそれぞれぶつかり、山の外側に雨や雪を降らせます。山を越えて瀬戸内側に吹き込む風は、水蒸気を失って乾燥しているため、この地域では年間を通して降水量が少なくなります。
問4	答え 3 エアコンの室外機や自動車の走行などによって放出される人工排熱の増加	都市部では、地面が太陽の熱を蓄えやすいアスファルトやコンクリートで覆われていることに加え、エアコンの使用や自動車の運転といった人間の活動に伴って放出される「人工排熱」が滞留することで、周辺地域よりも気温が高くなります。これを島状に熱がこもる様子からヒートアイランド現象と呼びます。選択肢にあるドーナツ化現象は、都市の人口移動に関する用語であり、気温上昇の直接的な原因ではありません。
問5	答え 1 交通渋滞を解消し、踏切事故を防止して安全性を高めるため	踏切は列車の通過待ちによる交通渋滞の原因となりがちで、特に都市部では「開かずの踏切」が大きな社会問題となります。道路と鉄道を立体交差化（道路が上、または鉄道が上）することで、車両や歩行者の流れを止めずにスムーズな通行が可能になり、同時に踏切内での事故リスクを無くすことができます。これにより、地域の利便性と安全性が大きく向上します。
問6	答え 2 山脈にさえぎられて上昇し、大量の雪を降らせる	シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風は、日本海を渡る際に暖流から供給される水蒸気を蓄えます。この湿った空気が日本列島の中央を走る山脈にぶつかって上昇し、冷却されることで雪を降らせるため、日本海側は世界有数の豪雪地帯となります。
問7	答え 3 扇頂・扇央部は砂利が多く浸透性が高いため果樹園に適し、扇端部は地下水が湧き出て水が得やすいため水田に適している。	扇状地の土地利用の背景にある原理を問う問題です。山地から流れ出た川が形成する扇頂・扇央部では、大きな砂利などが堆積して水が伏流しやすく水はけが良い環境になるため果樹園に利用されます。伏流した水が湧き出る扇端部では、豊富な水資源を利用できるため水田が開かれます。
問8	答え 4 瀬戸内の気候	日本の平均的な年間降水量は約1700mm程度ですが、瀬戸内の気候は山地に挟まれた地形的要因から雨が非常に少なく、1000mm～1200mm程度にとどまることが特徴です。これに対し、南四国や太平洋側は夏の降水量が極めて多く、日本海側は冬に降水量（雪）が多くなるため、年間降水量は瀬戸内よりも格段に多くなります。
問9	答え 2 果樹園	小さな丸に短い縦線が付いた記号は、樹木の形を象徴しており、地形図上で果実を栽培する土地であることを示します。選択肢にある他の記号と区別する場合、黒い点が3つ集まったものは茶畑、V字のような形は畑、小さな丸が3つ集まったものは桑畑を指します。
問10	答え 3 ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。	冬になるとユーラシア大陸から冷たく乾いた北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を通過する際、対馬海流などの影響で蒸発した水分を大量に含み、湿った空気へと変化します。この空気が奥羽山脈などの高い山々にぶつかって上昇することで、雲が発達し、日本海側に世界でも有数の豪雪をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥し、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問11	答え 1 日本海流（黒潮）	東北地方の三陸沖では、南からの暖流である黒潮（日本海流）と、北からの寒流である親潮（千島海流）がぶつかり合います。ここにはプランクトンが豊富に集まるため、世界的な好漁場となっています。
問12	答え 1 断面図	地形図だけでは読み取りにくい土地の起伏を、垂直方向の高さの変化（標高）として視覚的に示したものを断面図と呼びます。これを用いることで、平坦な土地なのか、あるいは河川や丘陵地といった起伏があるのかを一目で把握することが可能になります。
問13	答え 3 入り江の中は外海からの波の影響を受けにくく稲やかであるため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。	リアス海岸は、深く入り組んだ湾が連続するため、外海の荒い波が遮断されるという特徴があります。この「波が静か（穏やか）である」という利点を活かして、志摩半島では真珠の養殖、三陸海岸ではカキやワカメの養殖などが盛んに行われています。一方、平地が少ないため大規模な工業地帯や農業用地の確保には向きません。